

大館市の行政コスト計算書

	平成14年度 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	平成15年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	差 引
費用の部			
人件費	36億9,162万円	36億4,362万円	4,800万円
物件費	21億4,373万円	21億9,523万円	5,150万円
維持補修費	3億5,017万円	3億3,313万円	1,704万円
扶助費	29億845万円	29億7,937万円	7,092万円
補助費等	30億8,681万円	31億5,020万円	6,339万円
他団体負担金	3億4,140万円	2億2,528万円	1億1,612万円
災害復旧事業費	2億520万円	685万円	1億9,835万円
公債費	7億3,641万円	6億6,734万円	6,907万円
投資及び出資金	779万円	1,823万円	1,044万円
繰出金	21億3,845万円	23億714万円	1億6,869万円
減価償却費	35億7,882万円	36億2,831万円	4,949万円
退職給与引当金繰入金	2億8,760万円	2億6,128万円	2,632万円
不納欠損額	3,856万円	7,414万円	3,558万円
費用合計	195億1,501万円	194億9,012万円	2,489万円
収入の部			
一般財源等	152億6,524万円	146億3,341万円	6億3,183万円
国庫支出金	16億8,065万円	17億4,986万円	6,921万円
県支出金	7億8,657万円	8億1,655万円	2,998万円
使用料・手数料	5億1,783万円	4億6,673万円	5,110万円
分担金・負担金	1億3,542万円	7,473万円	6,069万円
財産収入	2億2,926万円	3億1,798万円	8,872万円
繰入金	3,746万円	3,767万円	21万円
諸収入	1億590万円	1億2,126万円	1,536万円
収入合計	187億5,833万円	182億1,819万円	5億4,014万円
正味資産国庫(県)支出金償却額		8億6,775万円	
期首一般財源等		323億2,550万円	
一般財源等増減額	- +	4億418万円	
期末一般財源等		319億2,132万円	

バランスシートでは大館市の資産や負債といったストック情報を見ることができましたが、行政コスト計算書は資産のように形としては残らない費用(コスト)について明らかにするもので、民間企業で作成されている損益計算書に当たり大館市が1年間に要した費用を項目別に見ることができ、どういった経費にどれだけ費やされているかを詳しく知ることができます。

内訳を見ると、増加の主なものでは、医療や介護への給付の増加に伴う国民健康保険特別会計や介護保険事業特別会計などの繰出金が1億6,869万円も増えています。また、扶助費も7,092万円の増加ですが、児童扶養手当の増

加が主な原因です。賃金や消耗品などの物件費では5,150万円の増となっていますが、これは県議会議員選挙や市長・市議会議員選挙が行われたことに伴うものです。

一方、削減となった主なものでは、災害復旧費が第一となっていますが、これは平成14年度に行われた市道などの凍上災害復旧事業費が大きかったためです。また、県営事業の減少などにより、他団体への負担金も減っています。人件費では4,800万円が削減されていますが、これは退職者不補充や人員削減といった行政改革などによるもののほか、期末手当の削減によるものです。

キャッシュ・フロー計算書

平成15年度		
行政活動によるキャッシュ・フロー		
収入計	181億6,785万円	
支出計	158億6,338万円	
差 引	23億447万円	...
投資活動によるキャッシュ・フロー		
収入計	24億8,193万円	
支出計	58億1,797万円	
差 引	33億3,604万円	...
財務活動によるキャッシュ・フロー		
収入計	32億5,630万円	
支出計	23億5,703万円	
差 引	8億9,927万円	...
合 計(歳計現金増減額)	1億3,230万円	... = + +
歳計現金前年度末(前年度からの繰越金)	6億2,135万円	...
歳計現金今年度末(翌年度への繰越金)	4億8,905万円	... = +

キャッシュ・フロー計算書とは今年度の資金のやりくりはどうか、自由に使える資金(投資活動に使える資金)はどのくらいあるかを見るため、行政活動・投資活動・財務活動の3つに区分して、資金収支のバランスを一覧表にしたものです。

行政活動においては23億447万円の余裕がありました。投資活動では33億3,604万円の不足を生じています。この不足分には、行政活動および財務活動の剰余金が充てられています。しかし、全体では1億3,230万円の不足となつたため、前年度末の歳計現金(前年度からの繰越金)で賄っています。

行政活動によるキャッシュ・フロー
一般的な行政サービスに係る収支の状況です。

投資活動によるキャッシュ・フロー
公共施設の整備や積立・投資等に係る収支の状況です。

財務活動によるキャッシュ・フロー
資金の借入や返済などの資金調達に係る収支の状況です。